

Q7. 今後の情報化施工普及の動きは？

建設施工には極めて有効なシステムであるため、国土交通省も2008年7月に、**情報化施工推進戦略**を策定し、重点目標として国土交通省の「**直轄の道路土工、舗装工、河川土工の各工事において、大規模の工事では2010年度までに、中・小規模の工事では2012年度までに、情報化施工を標準的な施工・施工管理方法として位置付ける。**」普及に努めています。

なお、この技術の利用に当たっては、設計データの作成、測位技術の活用、建設機械の特性などを生かした総合的な知識を必要とするため、(社)日本建設機械化協会の施工技術総合研究所に専門の研修機関を設置し、情報化施工を担う技術者の育成に努めています。



受講風景



実地研修場所全景